

令和7年度 学校評価アンケート結果

吉野川市立鴨島第一中学校

1 アンケート実施状況

(1) 実施日

令和8年1月20日(火)～2月6日(金) ※Web上での回答

(2) 回答数

ア 生徒 302名 回答率 90.4% (昨年度 77.0%)

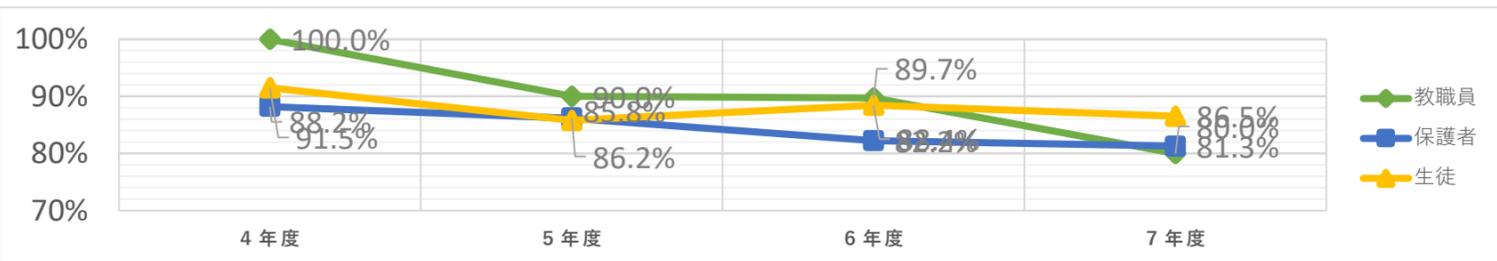
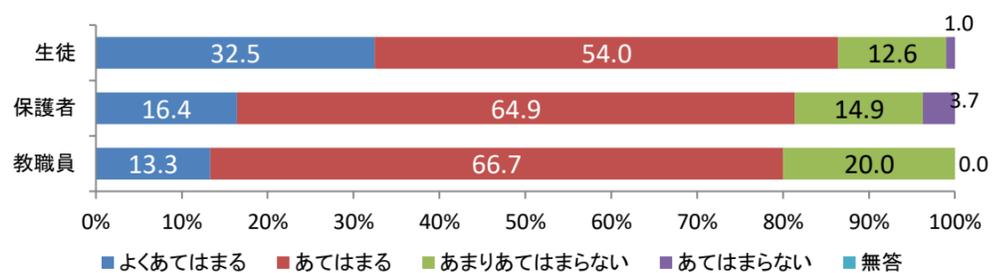
イ 保護者 269名 回答率 86.5% (昨年度 87.8%)

ウ 教職員 30名 回答率 100.0% (昨年度 100.0%)

2 集計結果

① 生徒は、授業にまじめに取り組んでいる。

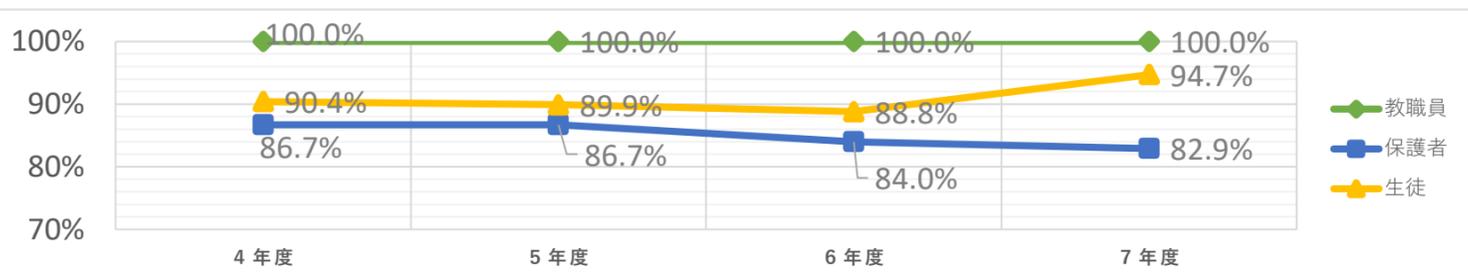
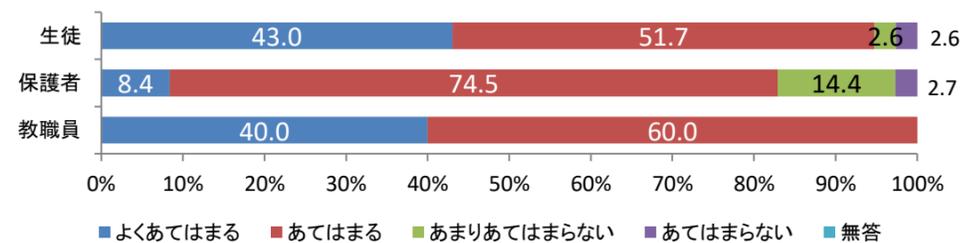
	あてはまる	あてはまらない
生徒	86.5%	13.6%
保護者	81.3%	18.6%
教職員	80.0%	20.0%



三者ともに「あてはまる」という肯定群が90%を下回っており、やや学習意欲の低下を感じる結果となっている。授業を真剣に受けようとする生徒が多い反面、私語や居眠りをする等、授業に対する集中力に欠ける状況から「あてはまらない」と回答したことが考えられる。学習規律の徹底とともに、授業をしっかりと聞く姿勢を身につけることが、確かな学力を定着するうえで必須である。またタブレット端末の積極的な活用等、わかる授業を展開するためにより一層、創意工夫に努めたい。

② 先生は、教え方を工夫して、わかりやすい授業をしている。

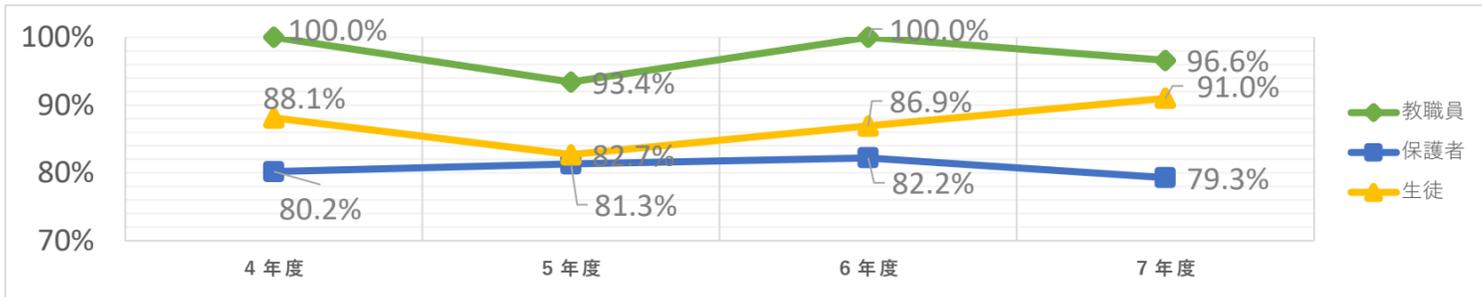
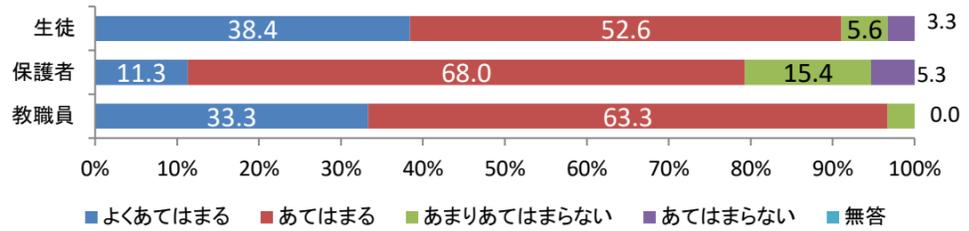
	あてはまる	あてはまらない
生徒	94.7%	5.2%
保護者	82.9%	17.1%
教職員	100.0%	0.0%



引き続き教職員は高い割合であり保護者も昨年度とあまり大きな変化はないが、生徒の肯定群の割合が昨年度よりも高くなっている。タブレット端末等ICTを効果的に活用した授業展開や、生徒の興味・関心につながる授業の構築を行った成果であると考えられる。次年度も引き続き生徒にとって「わかる授業」を目指して研修等を行っていききたい。

③ 学校は、適切な量の宿題を出し、家庭学習が続くように指導している。

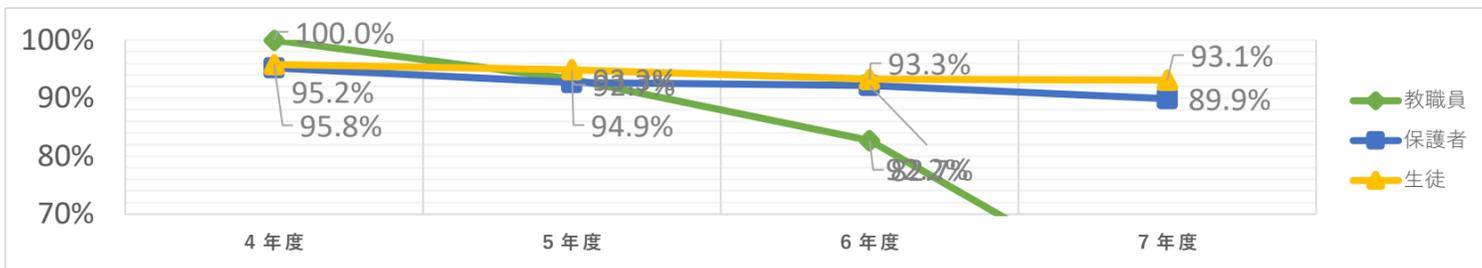
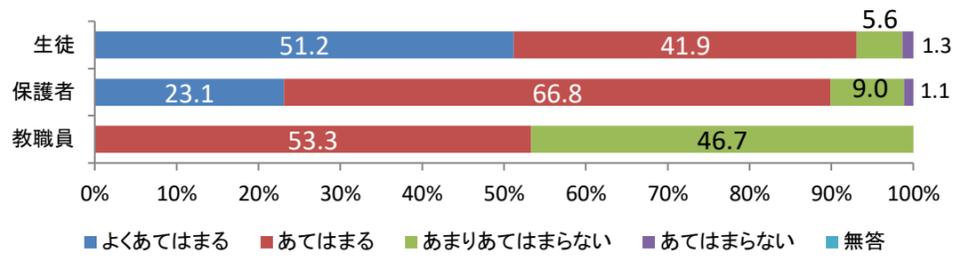
	あてはまる	あてはまらない
生徒	91.0%	8.9%
保護者	79.3%	20.7%
教職員	96.6%	3.3%



生徒の肯定群の割合が大きく向上している。今後も宿題を含む家庭学習の仕方を指導していくとともに、宿題以外の課題を見つけたら、長期休暇中のタブレット端末での学習等、家庭学習の充実につながるよう指導していきたい。

④ 生徒は、集団生活に必要なきまり（交通ルールやスクールルール）を守っている。

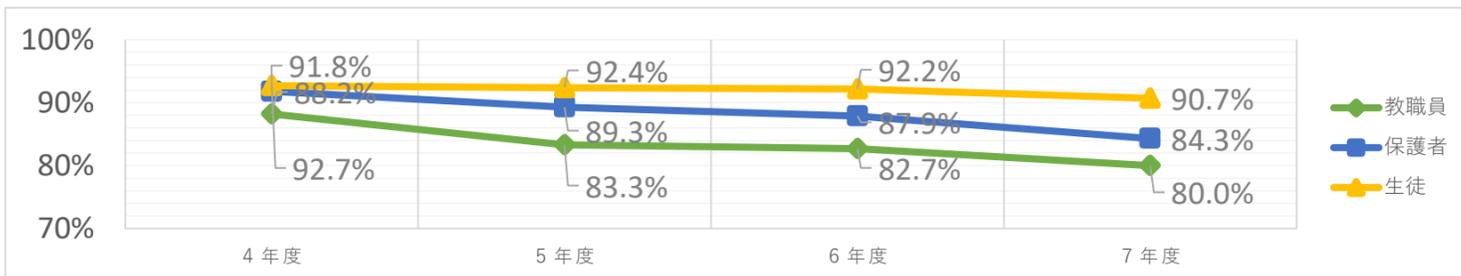
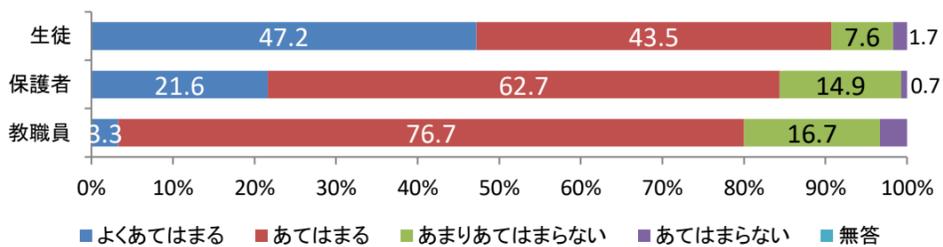
	あてはまる	あてはまらない
生徒	93.1%	6.9%
保護者	89.9%	10.1%
教職員	53.3%	46.7%



肯定的な回答について保護者・生徒からは90%台という高い肯定群に対して、教職員からは53.3%と前回より大きく低下している。一昨年度より校則を生徒主体で見直す取組を行っているが、来年度以降、より一層規範意識を高め集団の中でのルールの大切さを喚起していきたい。

⑤ 生徒は、友達や先生、近所の人にあいさつができる。

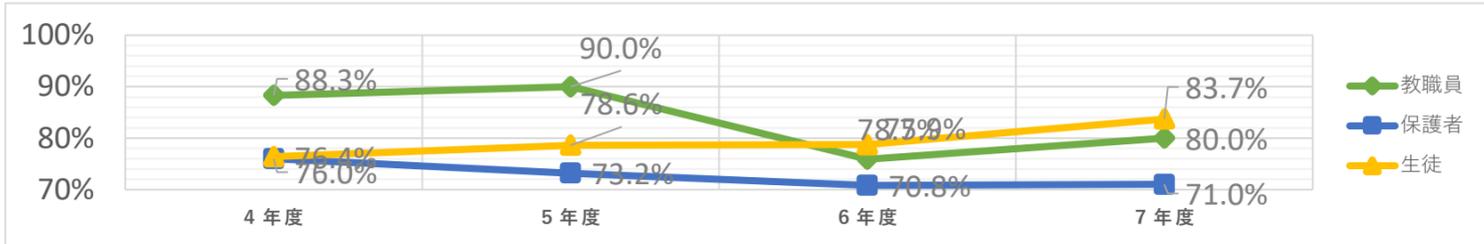
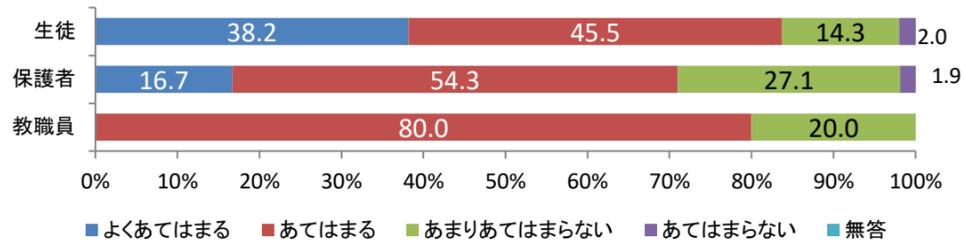
	あてはまる	あてはまらない
生徒	90.7%	9.3%
保護者	84.3%	15.6%
教職員	80.0%	20.0%



生徒会中心の「あいさつ運動」ではおおむね積極的にあいさつができているが、三者とも少しずつ肯定的な回答が低下しており、登校時の立哨では声の小さい生徒も見受けられた。全員が元気よくあいさつができるよう呼びかけていきたい。

⑥ 生徒は、健康（食生活や運動）に気をつけ、規則正しい生活に取り組んでいる。

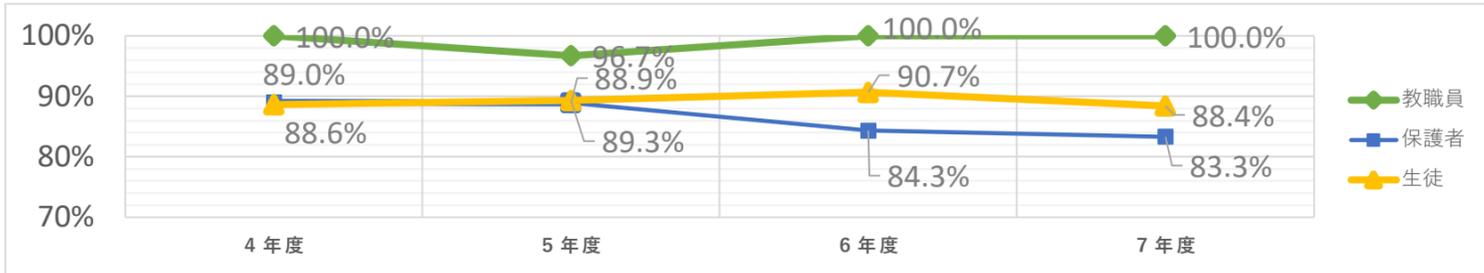
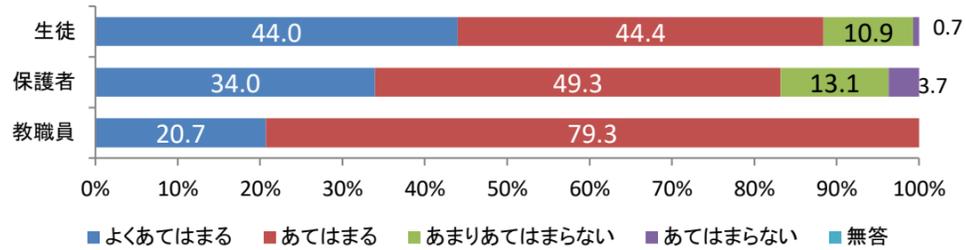
	あてはまる	あてはまらない
生徒	83.7%	16.3%
保護者	71.0%	29.0%
教職員	80.0%	20.0%



スマホ安全教室や食育パワーアップ講座等、外部から講師を招いた出前授業等の積極的な実施によって、三者とも昨年度より肯定的な回答が向上している。SNSの利用等については学校から積極的に発信し、家庭と連携して規則正しい生活が送れるよう今後も取り組んでいきたい。

⑦ 生徒は、学校の行事や部活動に積極的に取り組んでいる。

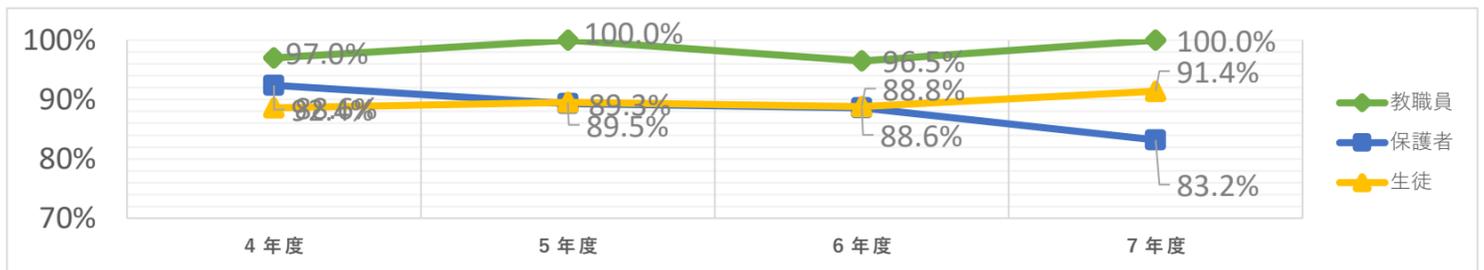
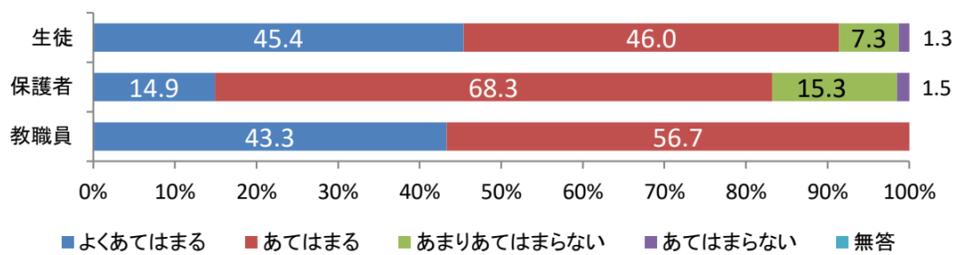
	あてはまる	あてはまらない
生徒	88.4%	11.6%
保護者	83.3%	16.8%
教職員	100.0%	0.0%



今年度も運動会や一中祭、合唱コンクールなどの学校行事にクラスが一致団結して生き生きと活動する様子が見受けられた。部活動では、多くの生徒が意欲的に参加しており、日々努力を積み重ねた成果が実を結びつつある。

⑧ 先生は、言葉づかいや礼儀正しい行動について指導している。

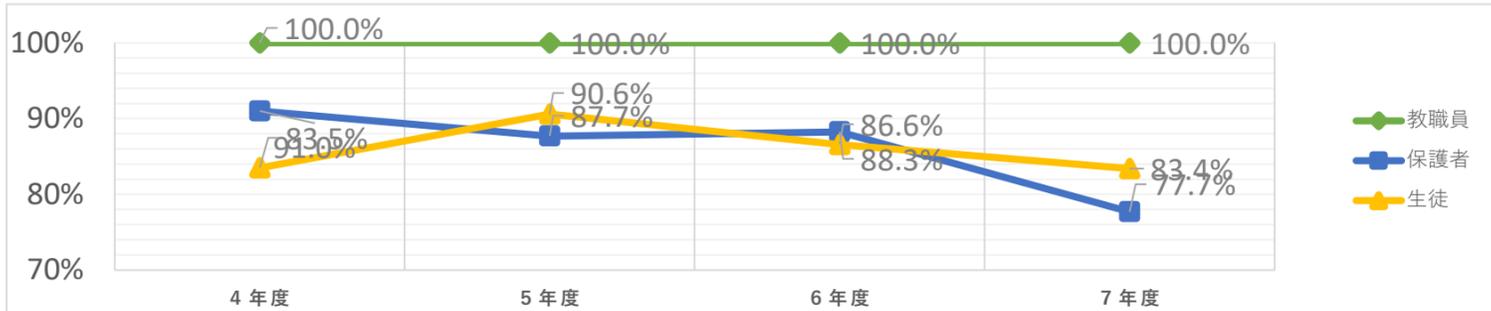
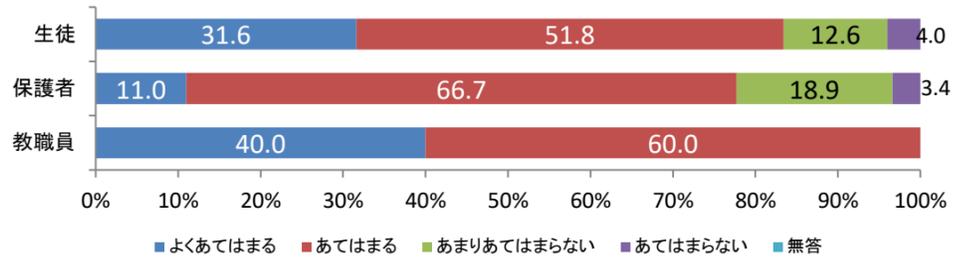
	あてはまる	あてはまらない
生徒	91.4%	8.6%
保護者	83.2%	16.8%
教職員	100.0%	0.0%



教職員は日頃の取り組みから高い割合の肯定群となっており、生徒の割合も昨年度より向上しているが、保護者の割合が低くなっている。教職員が生徒の模範となるよう、日々の言動や行動に気をつけながら引き続き指導していきたい。

⑨ 先生は、好ましい交友関係（先輩後輩の関係，同級生との関係）になるよう指導している。

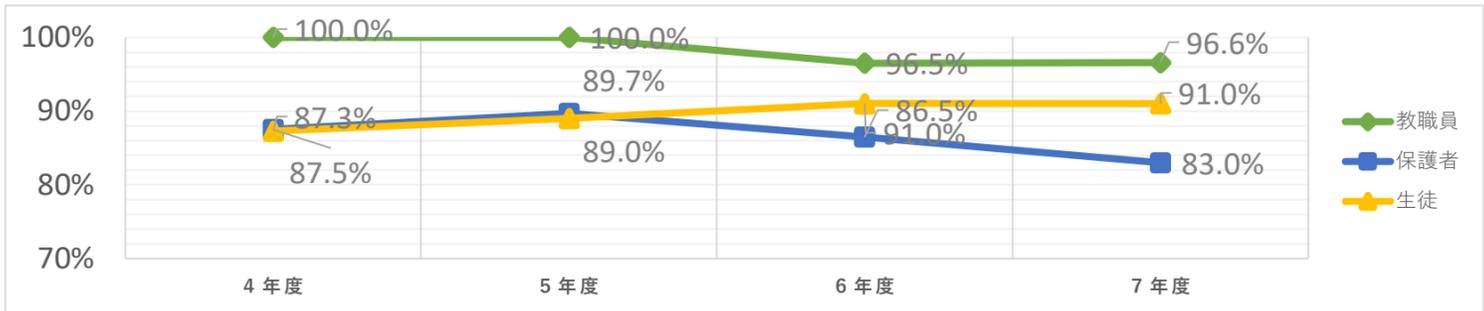
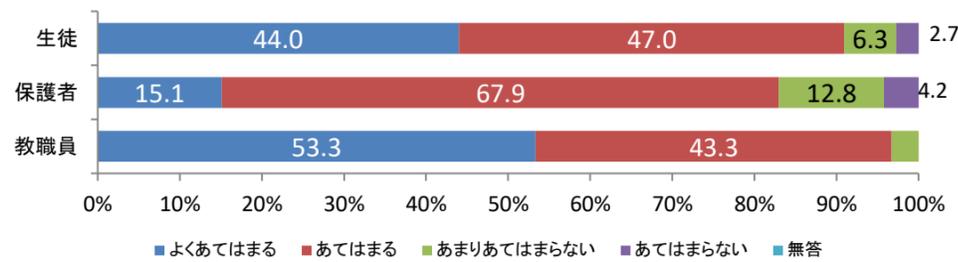
	あてはまる	あてはまらない
生徒	83.4%	16.6%
保護者	77.7%	22.3%
教職員	100.0%	0.0%



教職員は日頃の取り組みから100%の肯定群となっている。前回と比べて生徒・保護者の肯定群が低下している状況として、SNSのトラブルや休日の過ごし方が要因と推測される。今後も道德の時間や日頃の生徒の様子を把握しながら、生徒理解に努め、保護者とも積極的に連携していきたい。

⑩ 先生は、生徒一人一人を大切に言葉がけをしている。

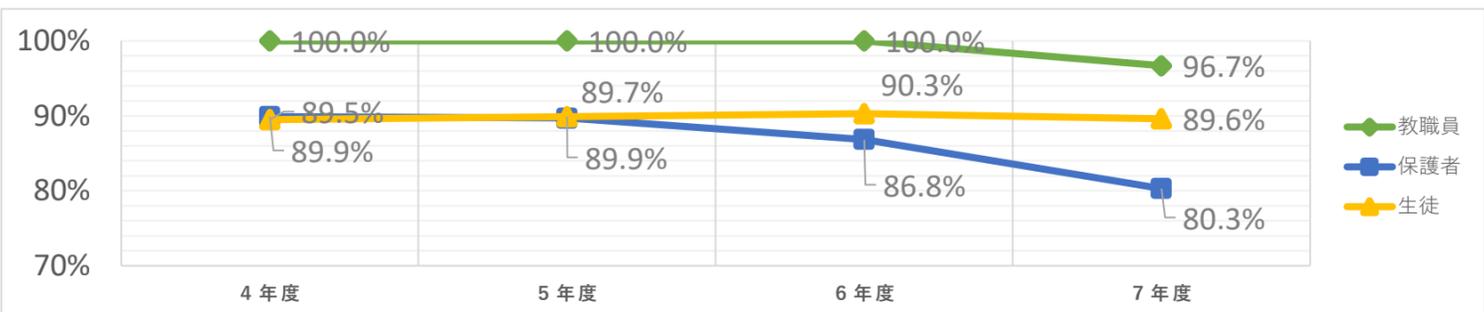
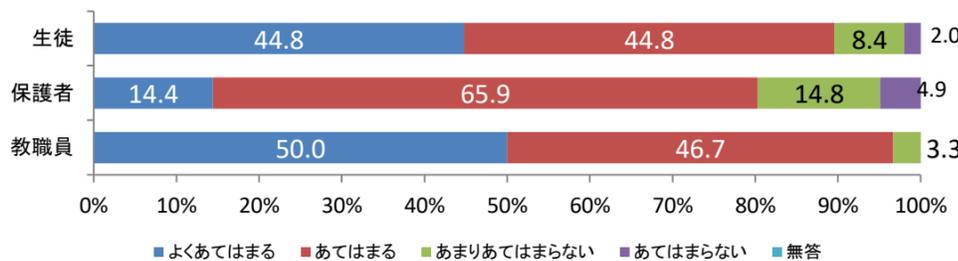
	あてはまる	あてはまらない
生徒	91.0%	9.0%
保護者	83.0%	17.0%
教職員	96.6%	3.3%



生徒の肯定群の回答が90%を超えた。今後も未来を担う生徒一人ひとりをかけがえのない存在として、生徒のやる気や成長につながる言葉がけができるように教職員に徹底していきたい。教師と生徒の信頼関係が醸成できるような会話を積極的に増やしていきたい。

⑪ 先生は、生徒からの質問や悩みの相談にきちんと応じている。

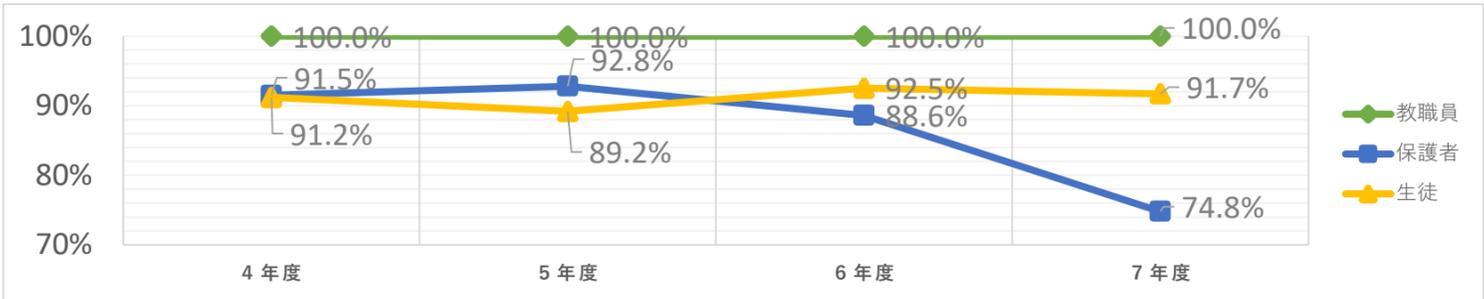
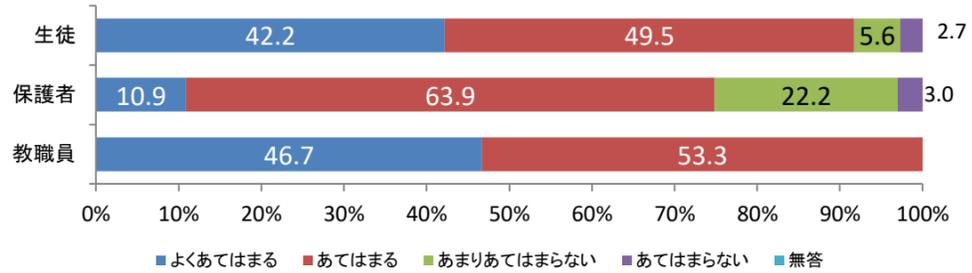
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.6%	10.4%
保護者	80.3%	19.7%
教職員	96.7%	3.3%



生徒は90%程度の肯定群の回答であり、おおむね生徒との対話ができているように思われるが、保護者の肯定群が下がっている。生徒からの質問や悩み等があれば必ず保護者と共有し、協力して解決に向かえるような関係の構築に努めたい。

⑫ 先生は、保護者からの質問や悩みの相談があるときはきちんと応じている。

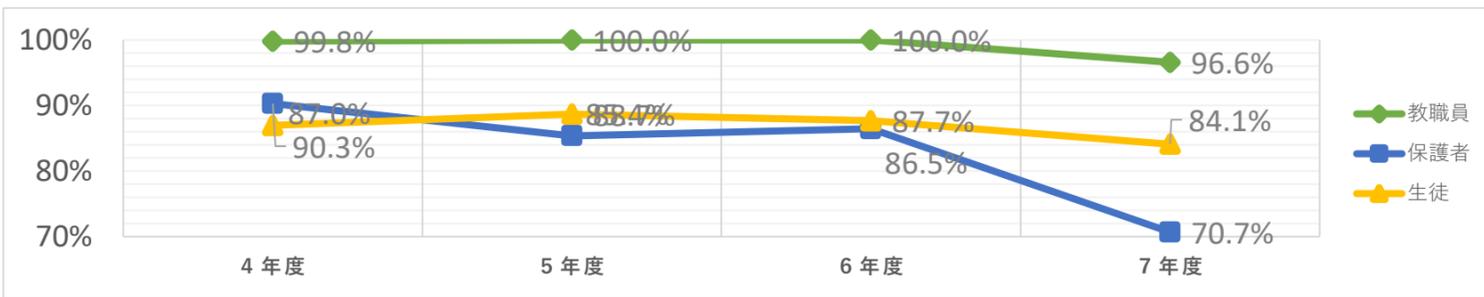
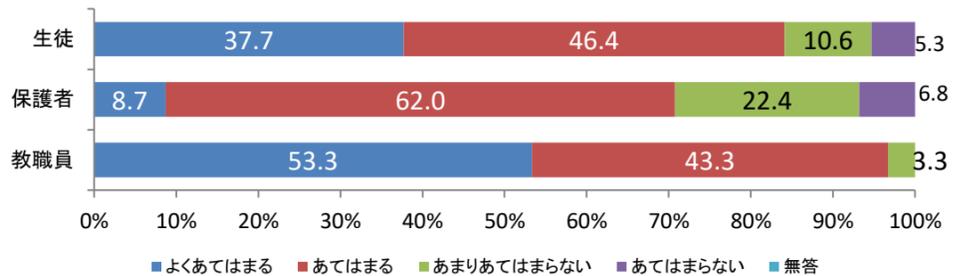
	あてはまる	あてはまらない
生徒	91.7%	8.3%
保護者	74.8%	25.2%
教職員	100.0%	0.0%



生徒の肯定群が90%を超えた回答となっており、教職員もまた日頃の取り組みから100%の肯定群となっているが、保護者の肯定群が大きく低下している。保護者との連絡・相談はこまめに行い、より一層信頼関係を深めていく必要がある。

⑬ 先生は、いじめやトラブルなど問題が起こったとき、適切に対応している。

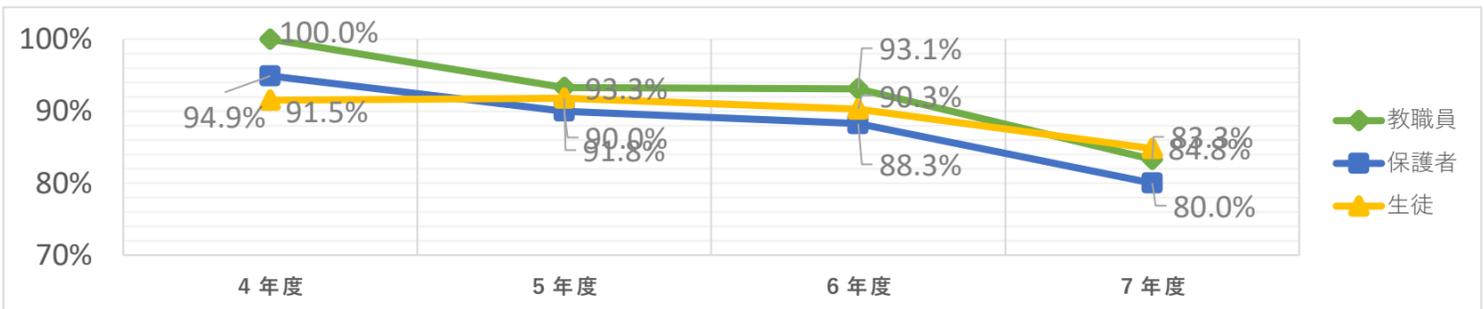
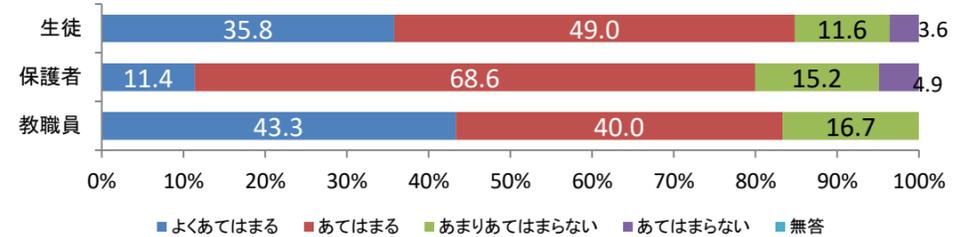
	あてはまる	あてはまらない
生徒	84.1%	15.9%
保護者	70.7%	29.2%
教職員	96.6%	3.3%



保護者・生徒ともに肯定群の回答が低下している。また自己の対応を省みて「あまりあてはまらない」と回答した教職員もいた。SNSを介した見えにくいいじめ・トラブル等が頻発していることが要因の一つと考える。生徒たちが安心して学校生活が送れるように、トラブルを未然に防ぐSNSの利用等も含めて指導するとともに、トラブルがあった場合には誠実に対応していく。

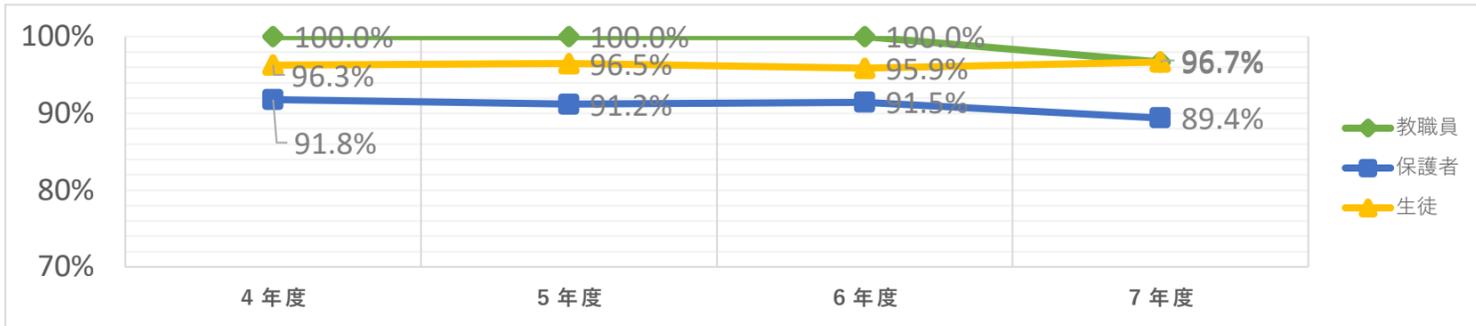
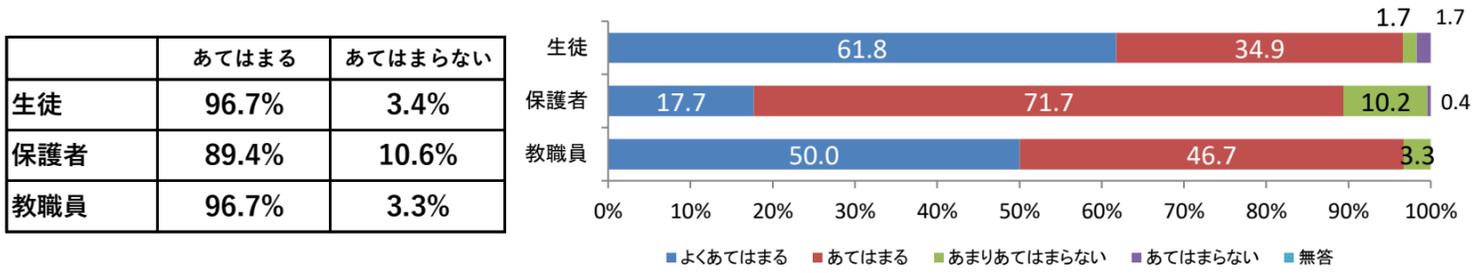
⑭ 学校は、安全で快適に生活したり学習したりできるような環境づくりに取り組んでいる。

	あてはまる	あてはまらない
生徒	84.8%	15.2%
保護者	80.0%	20.1%
教職員	83.3%	16.7%



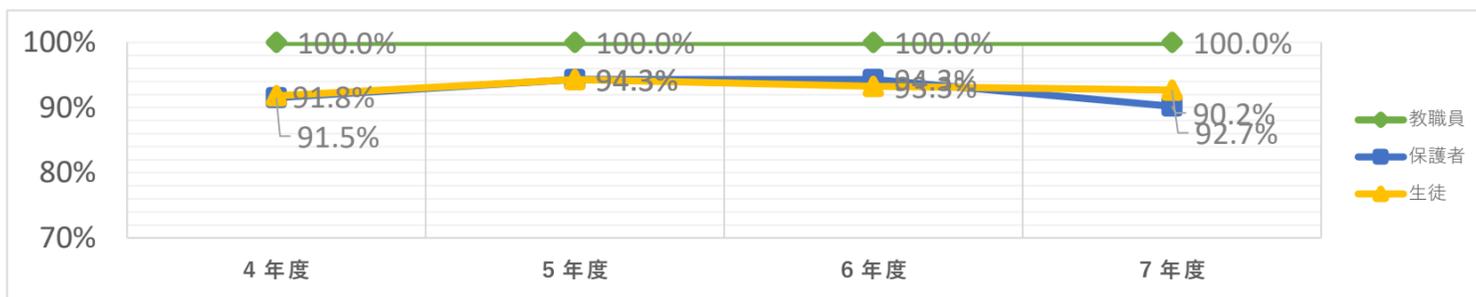
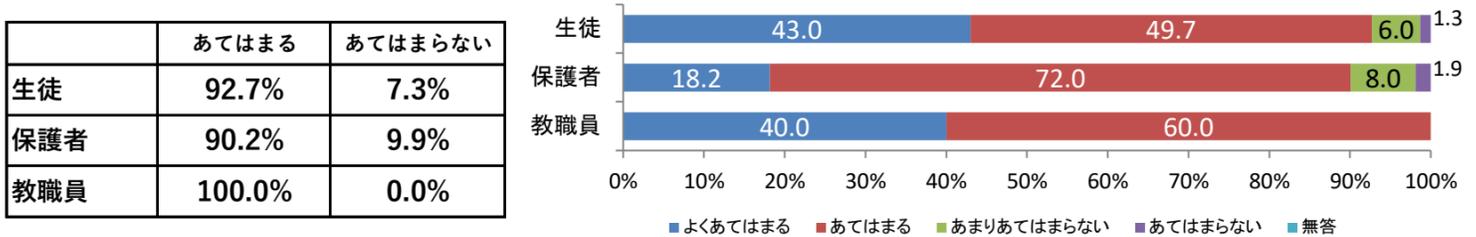
三者とも少しずつ肯定群の回答が下がっているが、生徒・教職員は日々の清掃活動に一生懸命取り組み環境美化に努めている。また教室環境や校内の掲示物等、今後も教職員全体が協力して創意工夫あふれる充実した内容となるようにしたい。

⑮ 学校は、ボランティア活動などで地域とのつながりを大切にしている。



毎回100人前後の生徒がエコフレンドに参加し、地域の方とともに江川周辺の清掃活動を行っている。また第3水曜日には、鴨島自動車学校や阿波吉野川警察署と協力し「マナーアップ活動」にも取り組んでおり、積極的に地域の方とのつながりを育んでいる。

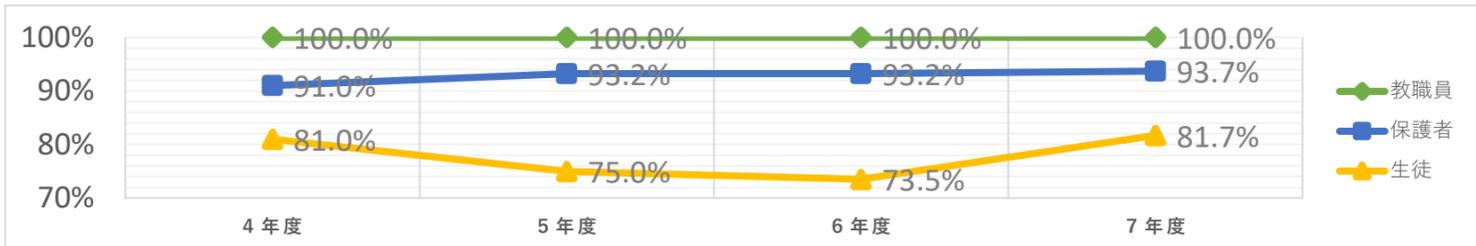
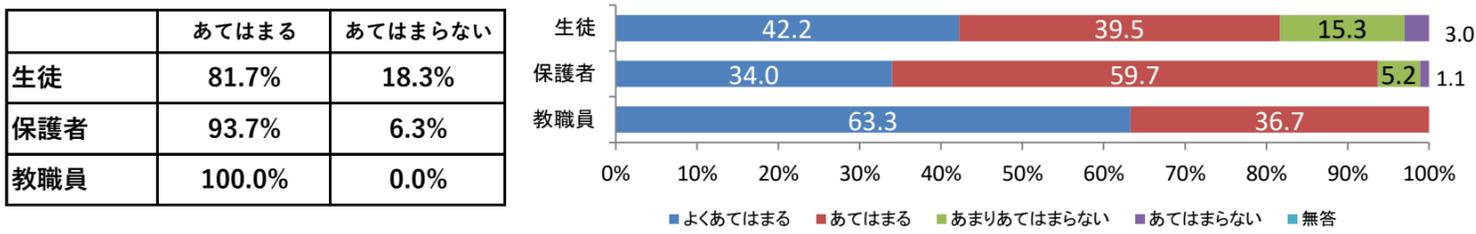
⑯ 学校は、行事や学校生活が充実するように工夫している。



コロナ5類以降、学校行事・部活動等はかつての活気を取り戻している。三者とも高い肯定的な回答が得られており、一中祭や合唱コンクールではたくさんの保護者の方に来ていただき、好評であった。

⑰ 私は、学校からの連絡プリントなどを保護者にきちんと渡して見せている。

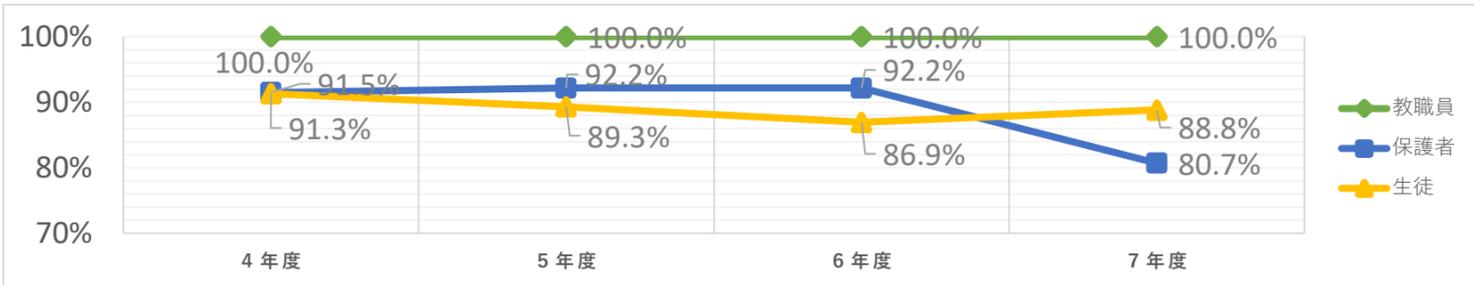
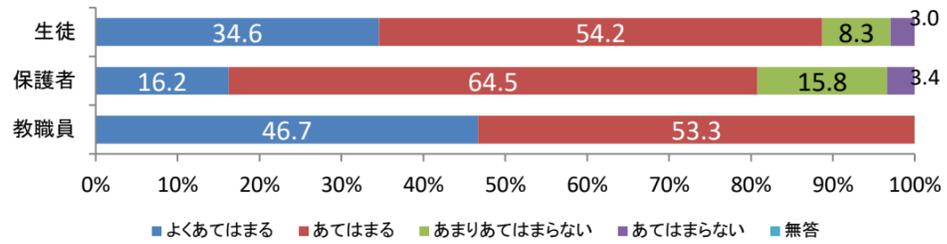
⑰ 学校は、ホームページ・学年通信・保健だよりなどで学校の活動や生活の様子を知らせている。



昨年度から主要な学校連絡は、すべてマチコミメールによる通知に移行しており、このことが保護者からの高い肯定群につながっていると考えられる。しかし少ないながらも生徒への手渡しによる配付物は現在も続いている。生徒から家庭へきちんと手渡し意識はここ数年横ばい傾向にあり、学校と家庭の相互連絡を生徒が担う意識の向上が課題である。

⑩ 私は、人権学習に意欲的に取り組んでいる。

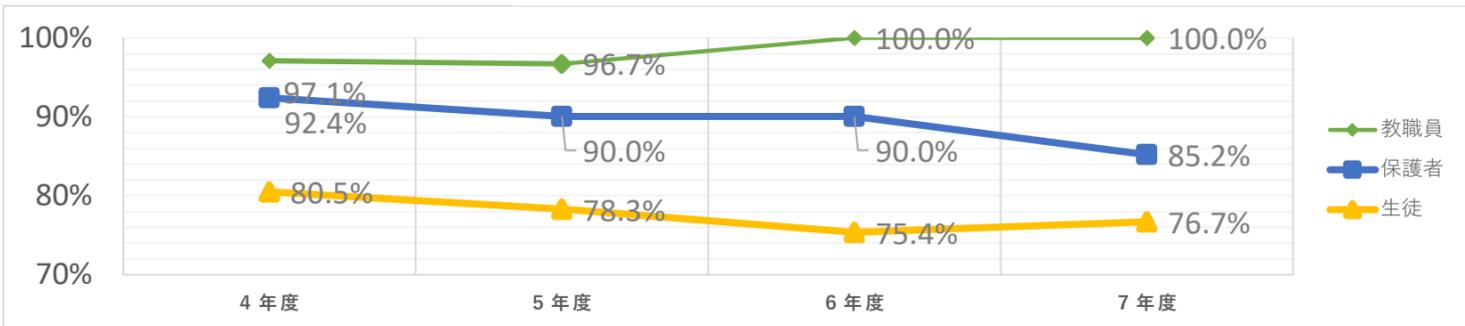
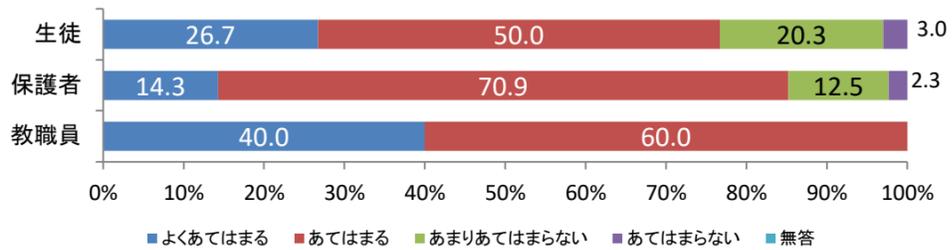
	あてはまる	あてはまらない
生徒	88.8%	11.3%
保護者	80.7%	19.2%
教職員	100.0%	0.0%



各学年の実態に応じて、どの学級も真剣かつ積極的に学習に取り組んでおり、教職員も互いに相談しながら、同一歩調で学習をすすめている。生徒の肯定群は上がっているが、保護者が低下しているため、引き続き人権学習の内容について学年通信を活用する等、家庭での人権啓発につなげていきたいと考えている。

⑪ 私は、学習や生活の目標を立て、前向きに実行している。

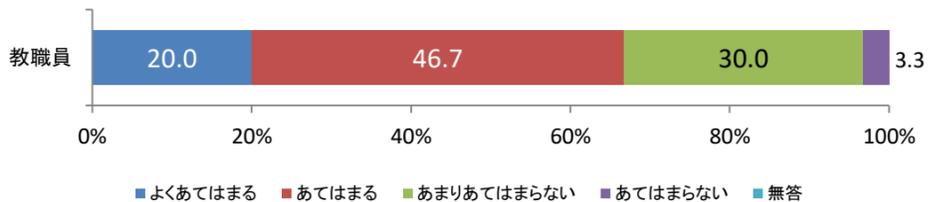
	あてはまる	あてはまらない
生徒	76.7%	23.3%
保護者	85.2%	14.8%
教職員	100.0%	0.0%



生徒の肯定的回答は上がっているが80%には至っていない。また保護者からの肯定的回答はやや低下している。今後は家庭学習においても、目標を立てることの意義や計画の立て方などを指導する必要がある。また実行可能な計画を立てることにより、学習意欲の向上や部活動での達成感や成就感につなげる等、成功体験を積み重ねることができるようしていきたい。

⑫ 教職員は、「働き方改革」を意識して、部活動時間を設定するなどして仕事を行うことができている。

	あてはまる	あてはまらない
教職員	66.7%	33.3%



前回調査と比較して「あてはまる」と回答した割合が13%低下した。部活動だけでなく生徒指導等での突発的な時間外勤務が増えたことが要因の一つと考える。今後は統合に向けて、日課表の見直しや変更を行う等の改善を図りながら、短時間での効率的な部活指導等の提案により、教職員の心身の健康につながる働き方改革を推進していきたい。